

## 情報処理の概念

#0 概説・目的・要旨

安田豊

## 問題提起

- 情報処理技術の普及
  - 情報処理技術の応用の広がり
  - 企業活動や個人生活、法制度までに変化が
  - もはや新聞も読めない？
- テーマ
  - この現代にあって、我々はコンピュータや情報処理の何を理解すべきか？

## 理解すべき対象は何か？

- 過去
  - コンピュータとプログラミングはほぼ同義
- 現在
  - 一般的な利用者にとって、プログラミングは決して妥当な理解への入り口ではない。
- プログラムの理解だけでは不十分。

## 理解すべき対象は何か？

- プログラム＝直接的な指示書
- では原理を理解することではどうか？
  - 現在の一般的なコンピュータと数学との関係は非常に深い
  - それで現在の社会的な変化を説明できるか？
- 動作原理の理解だけでもまた不十分。

## 理解すべき対象は何か？

- では技術か？
  - 要素技術の詳細を理解した
  - 同様に社会的な変化の説明としては遠い
- 技術や構造の理解でも不十分。

## 理解すべき対象は何か？

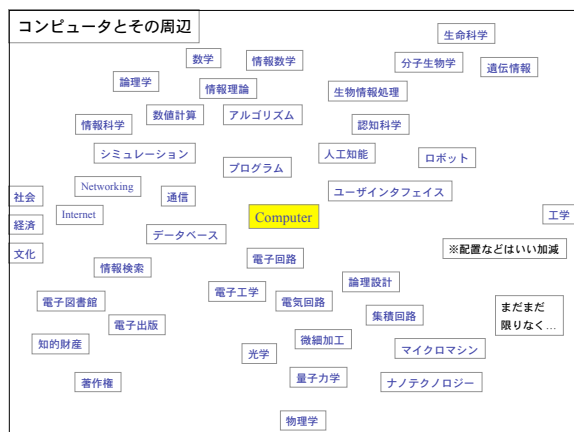
- 欲求（目標）
  - 情報処理のいまのすがたを把握し、理解したい
  - それには技術だけでも原理だけでも足りない
  - 数々の応用事例（過去）を追っても未来を創造する助けにならない
- テーマ：
  - それらすべての事物を広範囲に見、理解する
  - 常に視点の位置を確認しながら、「いま」の「情報処理のすがた」を把握したい。

## 現在の情報処理システム

- 現代の情報処理システムを理解する、とは？
  - 要素技術の理解
  - 全体の把握
  - そのバランス
- 全体を把握する意味を考える
- 講義を通じてさまざまな事例を見ていきましょう

## 方向性

- 原理から社会的な問題まで幅広く
  - デジタル化の原理、コンピュータの構造、歴史、ソフトウェアの意味、データ通信の仕組み、ネットワーク企業、知的財産ビジネス、電子出版、オープンソース活動
- 情報処理の現在のすがたを俯瞰する
  - バランスの取れた視点を獲得する（視点の再調整）



## 期限付きの理解という考え方

- 題材の多くは期限付きの価値を含む
  - 一過性
  - 再現性なし
  - 評価も変わる
- 新しい技術や価値観、事象が発生しても揺るがない考え方、その立脚点とは？

## 表現する価値

- レポートを課す
  - 自己の思考を表現する重要性
  - 記録は過去の視点を自己評価する道具
- 提出結果は公開する
  - 丸写し提出に対する効果を試したい

## 講義資料など

- 可能な限りネットワーク上に置く
    - 随時参照されたし
- <http://www.kyoto-su.ac.jp/~yasuda/index-j.html>
- 講義に関する連絡は主としてここで行う
  - コメントや質問などフィードバックも可
- 連絡先  
yasuda@cc.kyoto-su.ac.jp